

問1 室町時代初期において、三代将軍の足利義満が有力な守護を次々と討伐した背景には、幕府の権威を確立しようとする意図がありました。幕府がこのような守護への統制を行った最大の目的として、最も適切な説明はどれか。（2025年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 内乱を未然に防ぐとともに、各地で強大な勢力を持つ守護を幕府の体制に協力させ、将軍の支配力を高めるため。 | 2. 守護の持つ軍事力を解体し、公家による律令国家の仕組みを復活させて、中央集権的な政治体制を築くため。 | 3. 有力な守護に海外貿易の権利を独占させ、その利益を幕府が徴収することで、幕府の財政基盤を安定させるため。 | 4. 守護を各地の国司の下に配置し直し、土地の支配権を幕府から朝廷へと返還する手続きを円滑に進めるため。 |
|--|--|--|--|

問2 室町時代に形成された村の自治組織である「惣」について、その活動や社会への影響に関する説明として最も適切なものはどれか。（2017年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 有力な農民を中心に団結し、幕府や領主に対して借金の帳消しを求める土一揆を起こした。 | 2. 幕府から村の運営を強制的に任された組織であり、年貢の取り立てを主な目的とした。 | 3. 江戸時代に始まった制度であり、隣近所の5軒を1組として連帯責任を負わせた。 | 4. 商工業者が特権を得るために結成した同業者団体であり、関所の通行料免除を求めた。 |
|--|--|--|--|

問3 12世紀から15世紀にかけての日本と大陸・諸地域との交流の歴史について、発生した出来事の時系列として正しい組み合わせはどれですか。（2018年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 平清盛による日宋貿易の推進 — 元の軍勢による九州北部への侵攻 — 尚氏による琉球王国の建国 | 2. 元の軍勢による九州北部への侵攻 — 平清盛による日宋貿易の推進 — 尚氏による琉球王国の建国 | 3. 平清盛による日宋貿易の推進 — 尚氏による琉球王国の建国 — 元の軍勢による九州北部への侵攻 | 4. 尚氏による琉球王国の建国 — 元の軍勢による九州北部への侵攻 — 平清盛による日宋貿易の推進 |
|---|---|---|---|

問4 15世紀の琉球王国（現在の沖縄県）は、海上交通の要所としてアジア諸国を結ぶ役割を果たしました。当時の首里城正殿に掛けられていた「万国津梁の鐘」の銘文には、「舟を万国の架け橋とし、異国の産物や宝物が満ち溢れている」という趣旨の内容が刻まれています。このように、他国から輸入した商品を別の国へと輸出することで利益を得る貿易の形態を何といいますか。（2024年 群馬公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 中継貿易 | 2. 朱印船貿易 | 3. 朝貢貿易 | 4. 南蛮貿易 |
|---------|----------|---------|---------|

問5 室町時代後半の京都では、応仁の乱によって荒廃した町の復興を、有力な商工業者たちが中心となって進めました。彼らについて述べた文として、自治の仕組みや文化的な背景を踏まえて正しいものを選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 町衆と呼ばれ、自治組織を結成して祇園祭などの伝統行事を支える文化の担い手ともなった。 | 2. 会合衆と呼ばれ、濠や土塁を築いて大名の侵入を防ぎ、鉄砲の普及に大きく貢献した。 | 3. 座と呼ばれ、貴族や寺社に税を納めることで、商品の販売や製造の独占権を認められた。 | 4. 地侍と呼ばれ、農民をまとめて惣村をつくり、領主に対して年貢の減免を求める一揆を主導した。 |
|---|--|---|---|

問6 室町時代に発生した土一揆の背景や特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 惣とよばれる自治組織によって農民が団結し、幕府に対して徳政令の発布を求めた。 | 2. 五人組の制度を通じて農民が連携し、領主に対して年貢の減免を求めて強訴した。 | 3. 飢饉によって生活に困窮した都市の民衆が、米屋などを襲撃する打ちこわしを行った。 | 4. 馬借などの運送業者が中心となり、幕府の権威を利用して商業の独占権を求めた。 |
|---|--|--|--|

問7 足利義満が建立した金閣は、各層で異なる建築様式が組み合わされています。この建築が象徴している「北山文化」の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1. 将軍が公家と武士の両方の頂点に立つ権力を背景に、両者の文化が結びついた。 | 2. 日明貿易による富を独占した博多の商人が、大陸の文化を日本風に改良した。 | 3. 応仁の乱を逃れた公家たちが地方へ下り、各地の武士に教養を広めた。 | 4. 仏教の平等思想が広まり、身分に関わらず共通の文化を楽しむ風潮が生まれた。 |
|---|--|-------------------------------------|---|

問8 中世の日本で見られた、農民による自治組織「惣」が定めた「惣掟」の性質について、正しい説明はどれですか。（2020年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. 幕府が農民を統制するために全国一律の基準で制定した法律である。 | 2. 守護大名が自らの領地の安定をはかるため、村ごとに通達した規則である。 | 3. 農民たちが寄合を開き、村の秩序維持や資源管理のために自律的に定めた決まりである。 | 4. 寺社の僧侶が参拝客の安全を守るため、神社の境内に掲げた参拝の作法である。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 内乱を未然に防ぐとともに、各地で強大な勢力を持つ守護を幕府の体制に協力させ、将軍の支配力を高めるため。	室町幕府の成立当初は南北朝の動乱が続いており、将軍の権力基盤は極めて不安定でした。山名氏や大内氏のように複数の国を支配する有力な守護は、時として幕府を脅かす存在となりました。足利義満は、明德の乱や応永の乱などを通じてこれら有力守護の勢力を削減することで、幕府内部での内乱を防ぎ、守護を幕府の統制下に置くことに注力しました。これにより、各地の守護が幕府の秩序に従い協力する体制を築き、将軍を中心とした安定的な統治を目指しました。
問2	答え 1 有力な農民を中心に団結し、幕府や領主に対して借金の帳消しを求める土一揆を起こした。	惣の組織によって団結力を強めた農民たちは、自分たちの要求を通すために実力行使に出ることがありました。特に、徳政（借金の帳消し）を求めて起こした「土一揆」は、惣という自治組織の団結力が背景にあったからこそ、大規模な運動へと発展しました。
問3	答え 1 平清盛による日宋貿易の推進 —— 元の軍勢による九州北部への侵攻 —— 尚氏による琉球王国の建国	平安時代末期の12世紀後半、平清盛は大輪田泊（現在の神戸市）を整備して中国の宋と貿易を行い、平氏の経済的基盤を築きました。その後、鎌倉時代中期の13世紀後半には、モンゴル帝国のフビライ・ハンが送った元と高麗の軍勢が九州北部を襲撃する元寇が起こりました。さらに室町時代の15世紀に入ると、沖縄本島で三山を統一した尚氏が琉球王国を建国し、東アジアの中継貿易の拠点として繁栄しました。
問4	答え 1 中継貿易	琉球王国は地理的な利点を活かし、中国、日本、朝鮮、そしてタイやマレーシアなどの東南アジア諸国を結ぶ拠点として繁栄しました。自国の産品を売るだけでなく、他国から仕入れた品物をさらに別の国へ転売して差額で利益を得る手法は「中継貿易」と呼ばれます。万国津梁の鐘に記された「世界の架け橋」という言葉は、まさにこの貿易の性格を象徴しています。
問5	答え 1 町衆と呼ばれ、自治組織を結成して祇園祭などの伝統行事を支える文化の担い手ともなった。	京都の「町衆（まちしゅう）」は、法華一揆などを通じて団結を強め、自治的な組織を運営しました。彼らは単に経済活動を行うだけでなく、茶の湯、連歌、能楽、そして戦乱で中断していた祇園祭の再興など、中世から近世にかけての豊かな都市文化を支える重要な役割を果たしました。会合衆は界、座は特権的な商工業者組合、地侍は武士化した農民を指します。
問6	答え 1 惣とよばれる自治組織によって農民が団結し、幕府に対して徳政令の発布を求めた。	室町時代の土一揆は、村の自治組織である「惣」が基盤となっていました。彼らは団結して、幕府に対して借金を無効にする「徳政令」を出すよう要求しました。五人組は江戸時代の制度であり、打ちこわしは江戸時代中期以降に目立つようになった都市型の暴動です。
問7	答え 1 将軍が公家と武士の両方の頂点に立つ権力を背景に、両者の文化が結びついた。	金閣の1階は寝殿造という公家（貴族）の様式、2階・3階は禅宗様という武家や僧侶に好まれた様式になっています。これは、足利義満が太政大臣という公家の最高位に就くと同時に、征夷大将軍として武家を統率し、南北朝の合一を成し遂げた強大な権力者であったことを示しています。この政治的な融合が、文化面においても公家文化と武士文化の融合として現れました。
問8	答え 3 農民たちが寄合を開き、村の秩序維持や資源管理のために自律的に定めた決まりである。	惣は、有力な農民を中心に形成された村の自治組織です。彼らは村の共同作業である用水の管理や、山林（入会地）の利用方法について自分たちで話し合い、その合意事項を「惣掟」としてまとめました。掟に背いた者には罰を科すなど、外部の権力に頼らず自分たちで村の秩序を維持しようとする、中世農民の自立性の高まりを象徴する資料です。